



# 青葉匂う

令和元年度 第25号  
3月25日（水）発行

## 感動の歌声 涙と笑顔の 第71回卒業証書授与式！



3月6日（金）に、四日市市立港中学校第71回卒業証書授与式を挙行了しました。

本年度はコロナウイルスの影響により、来賓や在校生の参列はなく、市長・教育委員会挨拶、来賓挨拶もありませんでした。また、参加したすべてがマスクを着用し、手のアルコール消毒を行うという異例の式となりました。

そのような中ではありましたが、緊張感のある中にも温かい雰囲気にも包まれた大変素晴らしい式となりました。私から86人の卒業生全員一人ひとりに卒業証書を手渡しました。私は生徒一人ひとりの目を見ながら演台に迎えました。私を見つめ返す生徒の表情は、緊張の中にも、笑顔あり、涙顔あり、はにかみ顔あり、個性豊かなその表情に心えながら証書を渡しました。本年度も証書を受け取る生徒の表情を、保護者の皆様にご覧いただきたいと考え、舞台にスクリーンを設置しました。お子さんの表情はいかがでしたでしょうか？

在校生代表の「齋木悟空さん」による送辞と、卒業生代表の「森口結稀さん」による答辞は、その一言一句に思いが込められ、会場にいるすべての人の心に響き、多くの方の目には涙が溢れていました。また、卒業生が心を込めて歌った式歌「See You Again」は、歌いだしは柔らかく、さびは力強く、仲間との出会いと別れ、また再会することを信じる強い意志が感じられる卒業式にふさわしい式歌でした。

最後に卒業生が歌った「春風の中で」は、涙を流しながら、あるいは、涙をこらえながらも、卒業生全員が「今あなたに伝えたい『ありがとう』ここでまた会えるその日まで 希望へと続く道 歩いていく この場所から 歩いていく」という歌詞をかみしめながら、保護者への感謝および友への感謝の気持ちを込めて、精一杯歌い上げました。その時、会場は感動の渦に包まれました。

今年の卒業式では、国歌と校歌は吹奏楽部が録音した演奏で歌いました、式歌「See You Again」の指揮は「岩永志門さん」伴奏は「仲田留奈さん」が務め、卒業生の歌の指揮は「春山啓樹さん」伴奏は「佐野璃音さん」が務めました。



### 同窓会入会式

3月4日（水）、卒業式の準備が整った体育館で、四日市市立港中学校同窓会入会式を行いました。本年度の86名を加えて、同窓生総数は、13,388人と

なりました。入会式は、同窓会会長 山路裕子様にお越しいただき式辞をいただきました。そして、卒業生代表「永井玖愛さん」に記念品が贈呈されました。最後に第3学年主任が同窓会会則を説明して、入会式は滞りなく終了しました。

本校は、昭和22年4月15日に浜田地区と納屋地区を学区として、四日市市立東中学校が創立されました。翌23年2月20日に港中学校と改称され、同年4月30日には塩浜中学校と合併し三浜中学校と改称されました。その翌年24年12月1日に三浜中学校から分離し、四日市市立港中学校として現在に至っています。

## 1年間の教育活動へのご理解ご協力に感謝いたします

本年度はコロナウイルスの影響で、3月はほとんど授業ができず、3月4日配付の「臨時休業中の課題一覧」でお知らせしたとおり、未履修のある教科があります。そこで本校は、4月13日(月)～17日(金)の期間に、未履修の教科を中心として30時間程度の特別時間割を計画しています。また、新入生(小学6年生時)の未履修のわずかな内容についても同様とします。ご理解ご協力をお願いします。

さて、1年生には、入学式式辞の中で、「毎日、学習に励み、体力を向上する生徒になってもらいたい」「人の嫌がることを言ったり、からかったりするなどの、いじめ行為や、暴力をしない、許さない、正義感の強い生徒になってもらいたい」と話しました。

2年生には、1学期の始業式式辞の中で、「職場体験学習を控え、自分の将来の仕事や生活のことを考える時期を迎えるので、将来の夢をもちましよう」と話しました。

3年生には、「最終学年の自覚を持ち、みんなで声を掛け合って、本校の規範意識を高め、自分たちの力を合わせて、一層素晴らしい学校にできたという実感を味わってほしい」と話しました。加えて「運動部活動の集大成となる、中体連最後の夏の大会を控え、時間を無駄にせず、今の仲間と心を合わせて努力している成果を残してほしい」とも伝えました。

この1年間を通して、生徒たちは、「学校をよくしよう」と本当に頑張りました。そのおかげで、学校生活は大変落ち着いたものとなり、本当に素晴らしいと感心しています。

保護者の皆様には、「心配事も多い時期ですが、少しずつ手を離してください。見守る目だけは離さないでください」「自分のお子さんが一番大切なことは当然ですが、お子さんの言葉だけをうのみにせず、冷静で客観的な目を持ってください。」とお願いしてきました。この1年間様々な思いもあったことと推察いたします。それでも、学校の対応を信頼していただいたことに、心から感謝いたします。

来年度以降もさらに良い学校にするために、職員一同、気を引き締めていきたいと思えます。保護者の皆様におかれましては、引き続き本校の教育活動へのご理解ご協力をお願いいたします。

本日の離任式の場で、令和元年度末教職員異動(退職と異動)する職員を紹介しました。なお、異動に関するお問い合わせにはお応えすることができませんので、ご理解いただきますようお願いいたします。4月1日の新聞発表もしくは4月6日に配付する「異動について」の文書にて報告いたします。

最後に私事ですが、3月末をもちまして、37年間の教職員生活を終えます。本校では、教諭として7年間、校長として2年間お世話になりました。将来有望な生徒たち、温かな保護者の皆様、和やかな地域の皆様のご理解とお力添えにより、勤めを終えることができましたこと、心より感謝申し上げます。

生徒の活躍 おめでとう!	月日	受賞	名前
第40回三重県小中学校書初め展	1/20	入選	2年: 瀬津有梨 1年: 芝浦翔登、杉浦康太

		佳作	1年：伊藤あい、大久保佳穂、白浜航士
第26回新聞切り抜き作品コンクール	2/15	努力賞	1年：大倉百々花、伊達李音 2年：鶴田紘人、吉田菜月